

熱疲労にならない為に

2013. 5.30 安全委員会

- * 外気温 25°C 以上になる時（湿度もおおいに関係する）の作業は「要注意」です。

特に、「風が抜けない掘り鉢状で下部の現場」が要注意です。

- * 上記の条件でも作業をせざるを得ない時は、無理のない作業内容で、短時間（10分～15分作業10分～15分休み）で、グループでの作業、お互いが目の届く範囲で作業する。作業中は、各自意識して水分補給を行い、少しでも体調不良を感じたら合図をしながら休憩を取る。

- * リーダーは、人員の配置を考慮し、現状を周知して的確な指示を出す。日陰で、風通しの良い休憩地を用意する。

現場には、救急セットのほか、氷、冷却材、飲料水(スポーツドリンク等)は多めに用意する。